兒雷也豪傑譚（じらいやごうけつものがたり）上の巻

五篇

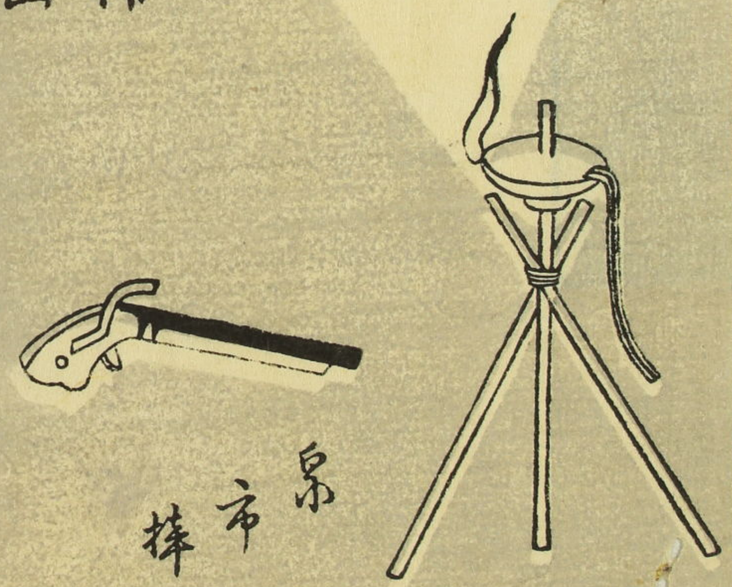
へ13
3878
9

門へ13
號3878
卷 9

兒雷也
豪傑譚

上巻

柳亭作
一壽斎画



泉市
梓

積善の家に必餘慶あり積悪の門に必餘殃あり佛經に云輪回
應報儒說に所謂汝に出て汝に返る者は是なり因有れば必果あり
天運順逆隱德あれば陽報あり貧福有定なり破鍋も
經蓋あり理で南蠻瓜が唐茄子と云天然自然の理り
物造化の出来損表して悪人栄て善人衰て壽命短して世に立ざる事
天道さまの除かも釋迦さまでも詮方なし是立前身の因果と云後の
報あり遅い則天命のまに其理りを說曉童蒙兒女も
勸善懲悪の一助とあらんと義圖直主の老婆心在遺稿を其終
亀戸の先酢に猫筆の潤色を加て飾て拙木に寿人嗣編を
依て高評を賜ぐ幸甚と子孫作者代て楓川市隱識

見通丞 福時寶子
悪魔婆々 於張

一 兒雷也豪傑譚 四拾七帖

一 休草紙 拾五帖

一 風俗淺間嶽 拾四帖

一 黄金水大盡盃 拾七帖

書肆 地本問屋

芝神明前 和泉屋 市兵衛

銀座四丁目 同 支店